

(様式第2号)

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日: 令和8年7月10日

事業者名: 株式会社アルフハウジング

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み		関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	・住宅建築においてLED照明や高断熱材、省エネ設備の提案を積極的に行い、環境負荷の低減に取り組む。 ・地域に存在する空き家、未利用不動産の流通促進や有効活用を通じて、地域資源の有効利用と住み続けられるまちづくりへの貢献。		⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに, ⑩住み続けられるまちづくりを, ⑬気候変動に具体的な対策を	・令和7年度省エネ設備を採用した住宅提案率70%。 ・令和7年度空き家、遊休不動産の売買仲介、活用提案を年間30件実施。	指標	・省エネ住宅の提案、採用率。 ・空き家、遊休不動産の活用件数。
					目標	・令和10年度までに提案率90%以上を達成する。 ・令和10年度までに年間活用件数を現在比20%増加させる。
社会	・地元業者との取引推進及び社員の資格取得支援を通じて、地域経済との活性化と人材育成を行う。 ・住宅や収益不動産について、適切な維持管理やリフォームを行い、建物の長寿命化と資産価値向上の支援。		④質の高い教育をみんなに, ⑧働きがいも経済成長も, ⑩住み続けられるまちづくりを	・令和7年度、地元業者との取引割合80%、社員2名が資格取得。 ・中古住宅購入者、収益不動産オーナーに対してリフォーム提案、維持管理提案を随時実施。	指標	・資格取得者数、地元業者利用率。 ・リフォーム、維持管理提案件数。
					目標	・令和10年度までに有資格者を5名以上、地元業者利用率85%以上にする。 ・令和10年度までに提案件数を20%増加させる。
経済	・DX推進による業務効率化と、お客様への迅速な提案体制の構築を進める。		⑧働きがいも経済成長も, ⑨産業と技術革新の基盤をつくろう, ⑰パートナーシップで目標を達成しよう	顧客管理システム導入により、見積書作成時間を20%削減しよう。	指標	見積書作成時間、契約までの期間。
					目標	令和10年度までに事務作業時間を30%削減する。
ガバナンス	チェック					
	☒	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 ＜具体的な内容を記載＞ ・SDGs推進責任者を設置。 ・年1回、SDGs目標の進捗確認を実施。 ・社内会議で取り組み状況を共有し、PDCAサイクルを運用。 ・ホームページにSDGsへの取り組みを掲載し、対外的に公表する。				
	☒	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 ・地域密着で可児・多治見エリアの住まいづくりや不動産事業を展開。 ・木造軸組工法を採用した長寿命住宅の提供。 ・オーナーズクラブによる資産活用、相続相談、勉強会の開催。 ・金融機関連携のもとSDGs宣言を作成中、作成次第HPに掲載予定。 ・取組み宣言書を会社窓口に掲示している。				